

令和5年11月6日

「第8回JET地域国際化塾」の開催

総務省は、山梨県との共催により、下記のとおり「第8回JET地域国際化塾」を開催します。

1 背景・目的

本事業は、JETプログラム（※）において招致した外国青年が、山梨県内の地域振興をテーマにした講演や現地視察を通じ、日本の地域の魅力について理解を深めることにより、今後、地域の情報発信など国際化の取組に一層関わりを持ってもらう機会を提供するものです。

また、自治体・地域づくり関係者においても、外国青年の新たな視点を通じて、グローバルな視点を持った地域活性化の取組が一層促進される契機となることを目的としています。

※外国青年を日本に招致、地方自治体等が小中高校での外国語教育・自治体での国際交流業務に活用するプログラム

2 日程及び場所

日程 令和5年11月15日（水）～11月17日（金）

場所 山梨県（甲府市、甲州市、富士吉田市、富士河口湖町、身延町、市川三郷町）

3 参加者

JETプログラムに参加している外国青年

地方自治体・地域づくり関係者等

約 80 名

4 主催

総務省・山梨県

〈参考：過去の開催実績〉

第1回（石川県 平成27年10月）、第2回（茨城県 平成29年10月）、
第3回（青森県 平成30年11月）、第4回（宮崎県 令和元年10月）、
第5回（鳥取県 令和2年12月）、第6回（兵庫県 令和3年10月）
第7回（福井県 令和4年10月）

〈添付資料〉第8回JET地域国際化塾の開催

第7回JET地域国際化塾（福井県）の実施概要

連絡先

自治行政局国際室 担当：田頭^{たがしら}参事官補佐、栗田^{くわた}主査、橋口事務官

電話：03-5253-5527（直通） E-mail：kokusai_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

J E T 地域国際化塾について

J E T プログラムとは

- 外国青年を日本に招致、地方自治体等が小中高校での外国語教育・自治体での国際交流業務に活用するプログラム
⇒令和5年（2023年）で設立37年、累計で世界78か国から約7万7千人（令和5年時点）の外国青年を招致する世界最大規模の人的交流プログラム
⇒小学校での英語教育早期化やインバウンド対策や海外販路開拓、多文化共生等の業務などに有為な人材を供給

J E T 地域国際化塾とは

- J E T プログラムにおいて招致した外国青年（J E T 青年）が、開催県における地域振興をテーマにした講演、地域づくり関係者との意見交換及び現地視察を通じて、日本の地域の魅力についての理解を深め、今後、地域づくりへの参画や地域の魅力を海外へ発信するなど、地域の国際化の取組に一層関わりを持ってもらう機会を提供する。
- 開催県内の自治体・地域づくり関係者が、J E T 青年との意見交換等を踏まえ、グローバルな視点を持った地域活性化の更なる取組を促進する。

J E T プログラム参加者（J E T - O B を含む開催県内や他県の代表者）、自治体・地域づくり関係者、各団体の国際・地域振興部局の職員、学者、N P O 法人 等

J E T プログラム参加者

地域への愛着心・日本理解の
深化、全国のJ E T 参加者ネット
ワークでの成果の共有

地域づくりの優良事例や
ノウハウ等の共有

自治体・地域づくり関係者

外国青年の視点を踏まえた
多様な地域振興の実現



第8回 J E T 地域国際化塾について（開催県：山梨県）

- 日 程：令和5年（2023年）11月15日(水)～11月17日(金)
- 参加者：J E T プログラムに参加している外国青年
地方自治体・地域づくり関係者 等 約80名
- 主 催：総務省・山梨県

【実施内容】

- 1 日目 地域づくり関係者とのによる事例発表・意見交換
- 2 日目 地域づくり関係者が活動する地域での現地視察
- 3 日目 J E T 青年によるグループワーク、
地域づくり関係者とのディスカッション

第7回JET地域国際化塾（福井県） 実施概要

JET地域国際化塾の目的

JETプログラムにおいて招致した外国青年と、自治体・地域づくり関係者との交流の場である「JET地域国際化塾」を開催

- 外国青年が地域の魅力について理解を深め、地域活動への参加・貢献を促進
- 外国青年の視点を地域活性化に応用

福井県でのJET地域国際化塾の概要

令和4年10月12日（水）から10月14日（金）までの間で、福井県内における地域活動の事例発表、地域づくりの現場の視察、グループディスカッションを実施

<1日目：福井県における地域活動に関する事例発表>

- ・実際に地域に住み、地域で活動する地域づくり関係者による事例発表を聞き、地域活動の魅力、地域活動への参加の意義・貢献について学びました。

(参考) 事例発表

川口 サマンサ氏 「外国から見た福井県」

(鯖江市地域おこし協力隊/さばえSDGs推進センター)

田中 佑典氏 「福井県の隠れた魅力とは」

(文化交流プロデューサー)



事例発表の様子

<2日目：地域づくりの現場を視察>

- ・地域づくりの現場の視察、地域活動への参加・体験を通じて、地域の魅力について、より一層理解を深めるとともに、歴史的建造物の維持や地域文化の継承をはじめとする地域づくり関係者が抱える地域の課題や取組について学びました。

(参考) 4コースに分かれて視察(主な視察先)

Aコース 千古の家、高岳寺、丸岡城(①)

Bコース さばえSDGs推進センター、うるしの里会館(②)

Cコース こしのくに里山再生の会、くにみクラゲ公民館、ワタリガラススタジオ、志野製塩所(③)

Dコース 七間朝市、大野城、東野東吉織物
はたや記念館ゆめおーれ勝山(④)



<3日目：事例発表と現地視察を踏まえた成果発表>

- ・事例発表と現地視察から、出身国と日本の違い等の感じたこと(成果)について、グループ討議や発表を通じて、地域の活性化について学ぶとともに、今後、自らが住む地域において、どのような地域活動を行っていくかについて考察しました。

- ・また、地域づくり関係者が、外国青年が持つ多様な視点について学び、今後の地域活性化への応用について考察しました。



グループ討議の様子

外国青年が感じた「福井県の地域の魅力」



漆器について学ぶ様子
～伝統文化・工芸の保存（継承）～



国指定重要文化財（江戸時代初期に建てられた福井県最古の民家）の
保存に力を注ぐ関係者と外国青年との車座
～地域文化の保存（継承）～



地域で描いた表示（外国青年が撮影）
～地域で子供を見守る文化～
～地域コミュニティの結束～



田園風景散策後に訪れた寺の庭
（外国青年が撮影）
～美しい自然との共生～



林業体験後に見た越前海岸
～森里川海の豊かさと自然保護活動～

JET地域国際化塾をきっかけとした外国青年の今後の活躍（参加者へのアンケートから）

<JET地域国際化塾に参加した外国青年の取組と効果>

- ・地域の方々や他の外国青年とのネットワークを構築
〔効果〕外国青年と地域との連携の促進、外国青年同士での連携が促進される。
- ・発見した福井県の魅力や体験について、他の外国青年、職場、生徒や家族等に共有したり、撮影した写真をSNSで発信
〔効果〕外国青年が持つ多様な視点と福井県の魅力が発信され、共有される。
- ・自身が暮らす地域に潜む魅力の見直し
〔効果〕外国青年が、地域の魅力について更に理解を深め、地域の魅力が再発見される。
- ・地域活性化プロジェクトへの参加
〔効果〕外国青年が地域活動に参加、地域活動のノウハウを獲得する。



<JET地域国際化塾に参加した外国青年の認識の変化>

- ・JETプログラム参加者として、自身に求められる国際交流等の重要性について、改めて認識するきっかけになった。
- ・他の地域のJETプログラム参加者との交流が深まり、日本の地域づくりの重要性を理解することができた。



地域づくり関係者との議論

※JET地域国際化塾で、外国青年が撮影した写真は「福井国際フェスティバル2022」でパネル展示され、外国青年が発見した福井県の魅力が紹介されました。（令和4年10月23日開催、来場者数約1,500名）